

3 - 21 三河における地殻変動観測 (1983 ~ 1984)

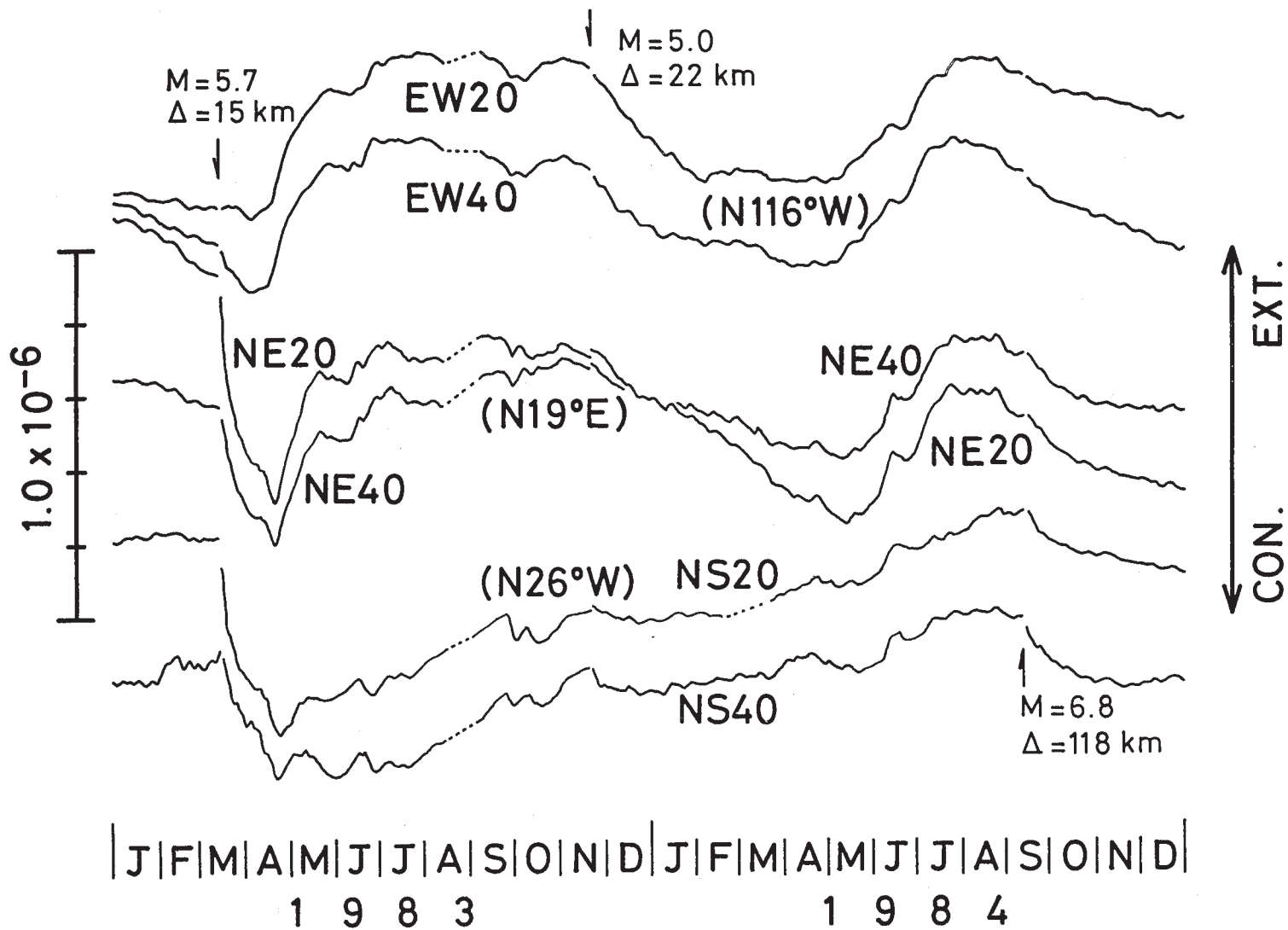
Crustal Strain Observations at Mikawa (1983 - 1984)

名古屋大学理学部三河地殻変動観測所
Mikawa Crustal Movement Observatory
School of Science, Nagoya University

三河地殻変動観測所における 1983 年 4 月までの伸縮変化については前報で報告した¹⁾。第 1 図は前報と同様に伸縮変化から 3 段のタンクモデルを用いて降雨の影響を除去した結果である。1983 年 8 月中旬に集中豪雨があつて降雨の影響を十分に除去できなかったために図には破線で示してある。1970 年代の変化と比較すると¹⁾ EW, NE 両成分の年周変化の振幅が大きくなったことがわかる。この原因については資料の集積を待って考察をしたい。前報¹⁾でも報告したように 1983 年 3 月 18 日に浜名湖付近で発生した地震による顕著な余効変化が目立つ。また、1984 年 9 月に発生した長野県西部地震後にもわずかではあるが余効変化が認められた。尚、この地震の前には目立った異常変化はなかった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部三河地殻変動観測所：三河における地殻変動観測 (1976.1 ~ 1983.4) 連絡会報, **30** (1983), 253 - 254.



第1図 三河における伸縮変化

Fig. 1 Variation of the extensometer readings at Mikawa.